

2月2日（日）

◆ホームステイ

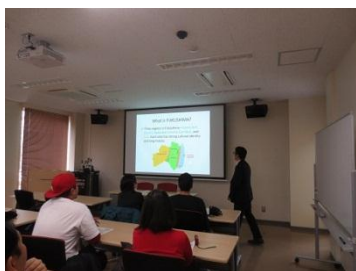
ホームステイ及び親戚宅及びにて過ごす。回転すしや焼き肉、ショッピングモール、墓参りなどそれぞれホストファミリーと共に過ごした。

2月3日（月）

◆福島大学うつくしま未来支援センター

三村悟特任准教授より、被災の状況やうつくしま未来支援センターの取り組み、課題等について説明があり、その後質疑応答が行われた。

次に、福島大学学生より、学生団体福島災害ボランティアセンターの活動内容について説明があった。



三村特任准教授講義



学生ボランティア講義



講義終了後

◆学生との交流

学生食堂にて学生と交流昼食会。交流を通じて学生ボランティアや日本の大学生活について理解を深めた。



学生との交流（学食）



キャンパス内

◆大堀相馬焼

大堀相馬焼協同組合の半谷理事長より、国指定伝統的工芸品である大堀相馬焼の歴史や震災以降の避難から仮工房（陶芸の杜おおぼり 二本松工房）オープンまでの説

明を受けた。その後工房の視察を行った。



工房内視察



半谷理事長と



工房前にて

◆稲荷神社（豆まき）

稲荷神社にて節分行事の体験を行い、日本の伝統文化について理解を深めた。



2月4日（火）

◆災害公営住宅（相馬市狐穴 井戸端長屋）

相馬市建築課伊東課長補佐より、相馬市における災害公営住宅整備状況及び設置理念等について説明を受けた。また、和田観光いちご園の阿部さんより、被災当時の様子や復興状況について説明を受けた。その後、施設内の視察を行った。



講義の様子



館内視察



津波被災地視察

◆相馬双葉漁業協同組合

遠藤総務部長より、漁港被災の状況や漁業者支援、漁から卸、流通、市場や港の再建を含めた漁業全般の復旧について説明を受けた。また、現在相馬沖で行われている試験操業及び魚介類のモニタリング検査についても説明を受け、本県漁業の取り巻く状況について理解を深めた。



講義の様子



検査施設視察



遠藤部長を囲んで

◆災害廃棄物仮設焼却炉（相馬市光陽）

相馬市、新地町などの震災瓦礫の処理を行う災害廃棄物仮設焼却炉を訪問。環境省福島環境再生事務所の境課長補佐より、施設の運用及び瓦礫の処理状況について説明を受けた。また、視察を通じて、復興に向けての取り組みに理解を深めた。



◆南相馬ソーラー・アグリパーク（南相馬市原町区）

太陽光発電と植物工場を備えた地域再生の先駆けモデルとして、また、子供たちの体験学習や全国との交流の場として設立された南相馬ソーラー・アグリパークを訪問。半谷代表理事より、設立経緯やその取り組みについて説明を受けた。

また当日大雪であったこともあり、半谷代表理事の発案にて雪合戦を実施。初めての雪合戦も経験し、忘れられない訪問地の一つとなった。



ソーラーパネル



植物工場



半谷代表と雪合戦